人・もの・ことの“つながり”を大事に

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和７年９月30日発行
第12号
中信教育事務所

過去の「共に歩まん」はこちら→

←過去の「マナビィ通信」はこちら

市町村訪問②～各分野での取組を紹介します～

７月下旬、中信管内19市町村の担当者との懇談（市町村訪問）が終わりました。それぞれの担当者の皆様には、大変お世話になりました。懇談を通して、私たちも各市町村の取組や困られていること等をさらに知ることができました。この懇談で教えていただいたことを今後の支援にいかしていきます。いつでも、各分野の担当まで気軽にご相談ください。

本号では、「共に歩まん」第９号に続き、各分野での取組を紹介します。

【生涯スポーツ振興分野】

働き世代や子育て世代の運動実施率の向上を目指して【白馬村】

白馬村は、「Sport in Life コンソーシアム」（スポーツ庁事業）へ加盟し、働き世代や子育て世代運動実施率の向上を目指しています。担当の方は、「働き世代や子育て世代を、運動時間の確保が難しい世代である」と捉えました。そこで、日常生活に運動やスポーツを取り入れることを推進することが、運動実施率の向上へ繋がるのではないかと考えています。また、「家事も運動と捉えることで、積極的に体を動かす方が増えてほしい」とも話されました。

スポーツイベントで地域の活性化を【安曇野市】

６月、安曇野市明科地区にある前川で市と「安曇野市カヌークラブ」が「龍門渕スポーツDay」と題したイベントを開催しました。ラフティング日本代表チーム選考会の後、ラフティング体験会を行い、多くの市民が参加しました。担当の方は、参加者の「安曇野市にこんな場所があったなんて知らなかった」という感想を聞いて、市内の地域の魅力をまだまだ知らない市民がいることを再認識したそうです。スポーツイベントを通じて、市内の様々な地域を知ってもらうことも大切にしていきたいと話されました。

地域に息づくスポーツ文化を大切にして【木曽町】

６月、第12回木曽町小学生相撲大会が開催されました。木曽町4小学校の全校児童約300人が一堂に会し、学年・男女別で真剣勝負を繰り広げました。相撲文化の息づく町の恒例行事となっています。担当の方は、「毎年、真剣に取り組む子どもたちの姿を町民も楽しみにしています」と話してくれました。

木曽町の相撲文化の始まりは、明治時代と言われています。それが今もなお、地域の皆さんにとって欠かせないものとして位置づいています。

『水辺の安全学習アプリ』を活用して【上松町】

担当者の方は、「町のB&G海洋センターにあるプールを、継続的に地域の皆さんに利用をしてもらいたい」と願って、新規事業を計画しました。その中で、ニュースで水難事故が多いことが気になったそうです。そこで、「水に絡めて、安全面についても学習することはできないか」と考え、B&G財団も作成に関わっている『水辺の安全学習アプリ』を活用した学習を構想し始めました。

「総合型クラブや学校とも連携できれば」という構想は学校や地域との協働活動へと広がっています。

2028年に、信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の開催が決まったね。どこで、どんな競技が開催されるか知っているかな？詳しくは、右記のQRコードからHPを見てね。

次のページへ

【社会人権教育分野】

人権について語り合う『人権を身近に感じられる学習会』【松川村】

昨年度より、2月を人権月間として「人権を身近に感じる学習会」、「人権アートプロジェクト」、「人権フォーラム」、「人権に関わる映画上映」等を実施し、人権尊重思想の普及高揚を目的とした啓発活動に取り組んでいます。「人権を身近に感じる学習会」では、人権が「特別なもの」、「難しい」といったイメージをもった方々に気兼ねなく参加してもらおうと、お茶を飲みながら人権について自由に語り合う場を設定するなど、工夫を凝らした学習会となっています。

みんなで学び合う『もいちど小中学校』【木祖村】

地域の高齢者の方々が、「もう一度」小中学校へ行き、授業、学校行事、給食などの学校生活を通じて子どもたちと触れ合う活動を年30回ほど行っています。高齢者の方々は、普段できない体験を楽しんでいるようです。異なる世代との交流は、お互いの人権を尊重し、理解する機会となります。人権意識の向上を願っての取組といえます。

学社連携、共につくる「わくわく人権みんなの樹業」【王滝村】

地域の方々が小学生と共に学ぶ「わくわく人権みんなの樹業」は12年目に入り、今年度は7回実施予定です。「樹業」になっているのは、王滝村は木曽ヒノキが有名で「樹」のように、みんなで共に育ち、地域全体で学び合おうという願いが込められています。学校支援ボランティアの「わくわく人権部会」7～8名が中心となり、そこに学校の先生方が加わって授業内容を検討しています。実施後の反省会では、学校の先生方からアドバイスを得て、学校と地域が連携して子どものためによりよい授業づくりをしています。

【社会教育分野】

ウキウキ ワクワク！ 魅力がいっぱい！ 一緒に楽しもう！ 地域を盛り上げよう！

各市町村には、楽しくて魅力的な講座や公民館活動がたくさんあります。どの市町村も地域住民の皆さんに参加してもらい、楽しんでもらえるように、内容を工夫しています。 ぜひ、足を運んでみてください。

遊びを通して地域の方と子どものつながりをつくる【大桑村】

昭和100年をキーワードに、地域の方々が子どもたちに、遊びを通して昭和を伝える活動を実施します。『大桑村の明日を語る集い』では、地域を知る活動を実施しています。今年度は「人とのつながりを強くし、交流の中から生まれる学びを大切にしたい」という担当者の熱い思いがあります。

災害時に命を守り、冷静に行動する術を学ぶ【池田町】

ブッシュクラフトインストラクターの菅原さんによる、誰もが楽しく学べるサバイバル術『ブッシュクラフト』を通して、災害時に自分や大切な人を守る技術について学ぶ講座を実施しました。「この体験が今後の生活に必ず生きる。 この講座での学びが万が一の備えになる。 今後も様々な講座を企画する上で参加者を増やしたい」という担当者の願いがあります。

平和について深く学ぶ機会に【南木曽町】

戦後80年の節目の年。大人の社会見学では上田市にある無言館へ行き、南木曽町の公共施設では当時の写真や遺品などを展示するなど、戦争について学び、平和祈念します。
また、公民館講座「南木曽の歴史」は町民に好評な講座で、「南木曽町の歴史や文化、伝統などを知り、南木曽町についてより深く理解し、ふるさとへの愛を深めてほしい」という担当者の願いがあります。

地域で展開されている事業は、担当の方の「この地域をこうしたい。」という願いや思いが形になったものなんだね。地域の子どもは、地域の未来の創り手。子ども自身に、「この地域をこうしたい。」という願いや思いを持ってほしいね。そのために、地域と学校の連携・協働は大切なことなんだね。